



こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net> ♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 48 2022年1月 発行



院長

及川 達司

Tatsuji Oikawa

医療法人にゅうわ会
及川病院 院長



挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昔から私たちは「年頭」に「一年の計」というその年の目標とか心構えとか、そのようなものを立ててきました。平素の一日とどこが違うのかと言われてればそれまでですが、12月31日で一区切りし新しい始まりを迎えるというのは、持ち越したくないものをどこかに捨てる生活の知恵だと言えなくもないと思っています。紅白歌合戦も競馬の有馬記念もその年の総仕上げで、「さあ新しい一歩へ」という気持ちになるから不思議です。人間はそうやって自分自身で心のリセットしているから、難しい世の中も生きていけるのでしょう。

去年も未知のウイルスに振り回され、その中でもオリンピックの感動を受け取れた、良いことも悪いこともごちゃまぜに訪れた一年でした。しかしもうそれは過去のこと。新しい一年が始まりました。私は若い世代への橋渡しをしながら専門分野に取り組んでいく所存です。

みなさんは何を「一年の計」に立てられましたか？

ピンクリボンチーム活動報告

今年度ピンクリボンチームは総勢29名で活動を行いました。キャッチフレーズを『今の行動で未来が変わる 受けよう乳がん検診』とし、Instagramでの広報、企業への関わり、日曜検診・JMS（ジャパン・マンモグラフィ・サンデー）の参加を主な活動内容として取り組みました。Instagramでは病院の紹介や、検診料金の案内、地域のお店の紹介などをアップしました。患者様からの反響もあり、とても嬉しかったです。企業への関わりは、当院の委託企業の職員の方を対象としたレクチャーを行いました。レクチャーに使用した冊子も職員で作成し、参加された方からは、今月からセルフチェックしてみようと思ったなどの声がありました。日曜検診は12名、JMSは8名の方に受診していただき、検診後には乳がんに関するクイズや自己検診の方法を説明しました。



コロナ禍で、例年行ってきた街頭活動など大規模のイベントは行えませんでしたでしたが、今年度初めてイルミネーションの設置やSNSでの情報発信などを行いました。参加した職員が様々な意見を出し合い、より良い活動が行えたのではないかと思います。地域のお店の方々にも日曜検診のポスターやティッシュを置いて頂きました。ご協力ありがとうございました。また来年、様々な企画で活動が行えたらと思います。

がんに関わる啓発活動の報告会

2021年はコロナ禍で日本中のがん検診率が下がる中、がんの専門病院として今出来ることを考え、がんに関わる啓発活動を行ってきました。3月は若者が社会に巣立つ時期にAYA世代（15~39歳）のがん患者を支援する「AYA Week 2021」へ参画しました。5月は及川病院独自で「母の日キャンペーン」として、“あなたの大切な人に、いつまでも健康でいてほしい気持ちを伝えよう”をコンセプトに、当院の乳がん検診に来られた方に、乳がん検診を広めていただく取り組みを行いました。10月は「ピンクリボン月間」として活動内容は先に述べた通りです。そしてこの3グループの活動報告会を12月に行いました。日頃一緒に仕事をしないスタッフとも時間調整をしながら活動し、職員ひとり一人が自分出来ることを協力しあって取り組んだ内容でした。大規模イベントではありませんが、このような取り組みで一人でも多くの方が早期に乳がん検診を受けたり、がん患者さんの理解・支援に繋がっていくことを願います。



さて、2022年はがんに関わる啓発活動に「オレンジバルーン」のグループを加えて4グループで取り組みます。これは、がんと診断された時から始まる緩和ケアの正しい知識を普及啓発する全国的な活動で、10月に行われるものです。今年も及川病院からお知らせをお届けすると思いますので、ご協力よろしく願いいたします。

クリスマス会2021



昨年はコロナ禍により開催出来ませんでしたが、12月25日及川病院恒例行事であるクリスマス会が緩和ケア病棟にて行われました。

稲光医師サンタからのクリスマスプレゼントや、スタッフによる渾身のハンドベル演奏、栄養科からのクリスマスデザートなど患者様、病院スタッフ一同楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

一年はあっという間に過ぎてしまいますが、今年も及川病院緩和ケア病棟では一つ一つの季節行事を大切にこれからもみなさまと過ごしていきたいと思えます。

ボジョレの夕べ2021

コロナ禍以前は3F談話室で患者様同士、談笑しながらワインを楽しんで頂いていた”ボジョレの夕べ”。しかし、2020年からは感染対策として患者様にワインを取りに来て頂き自室で飲食するというスタイルに変更しました。今回も多くの方に足を運んでいただき、「入院中にボジョレが飲めるとは思わなかった」「美味しそうだから飲んでみようかな」とイベントを楽しんで頂けたようでした。

談話室には可愛いクリスマスツリーが飾られ、光庭ではイルミネーションが点灯し照明を少し落とすとより一層キラキラと輝いてとても綺麗でした。ある患者様は「これを見ながらワインが飲めたらね」と少し残念そうでしたが、ソファーに座ってゆっくりとイルミネーションを眺めた後、自室に戻られワインを楽しんでいらっしゃいました。ワインの他にマスカットティーもご用意していましたが、こちらも「この紅茶のフレーバーは何ですか？美味しい」と皆様にご好評いただきました。

4F緩和ケア病棟では夕食のお膳にワイン又はマスカットティーを添えて配膳しました。今年はワインを希望される方が多く、いつもとは少し違った夕食を楽しんで頂けたようでした。



乳がん検診のネット予約ができることはご存じですか???

乳がん検診を受けたい方はネットからの予約も可能です。
当院を受診されたことがある方は診察券をご準備の上、QRコードにてサイトにアクセスしてください。まだ当院を受診されたことが無い方も、ネット予約が可能ですので是非ご利用ください。
※市の検診や無料クーポンご利用の方もネット予約が可能です。
ただし、症状がある方はお電話にてご予約をお願い致します。



QRコード



医療法人にゆうわ会 及川病院 乳腺外科

及川 将弘

Masahiro Oikawa

乳がん学会専門医・臨床遺伝専門医・遺伝性腫瘍専門医

5回にわたってお話してきた遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome: HBOC）のお話も今回で最後になります。今回は若干基礎研究的なお話し、なぜHBOCでがんの発生率が高くなるのかについてのお話です。

遺伝性乳がんについて（その1）でも少し触れましたが、HBOCの原因遺伝子であるBRCA1, BRCA2から作られるBRCA1, BRCA2タンパク質は、DNA修復機能をつかさどっています。我々は生活する中で、体の細胞のDNAに傷を受けます。紫外線や化学物質、乳腺細胞であれば継続的な女性ホルモンによる刺激などが原因となります。DNAの傷をそのまま放置しておくとも細胞が死に至ったり、がん化してしまうため、我々の体にはDNA修復機構が備わっており、その主役がBRCA1, BRCA2タンパク質なのです。HBOCの方は生まれつきBRCA1またはBRCA2遺伝子に病的変異を持っているため、DNA修復機構の働きが約半分程度に落ちています。そのため、細胞のDNAの傷が修復できずに積み重なってしまい、発がんしやすくなるというメカニズムが考えられています。なんとなく納得のいく話だと思いますが、まだまだ分からないこともいっぱいあります。生まれつきの変異なので、DNA修復機構の欠損は全身の細胞で見られるはずですが、しかし、HBOCの方で発がん率が上がるのは乳がん、卵巣がん、すい臓がん、前立腺がんなどの一部のがんに限られており、肺がんや大腸がん等のがんの発生率は一般とほとんど変わりません。これは家族性腫瘍の臓器特異性と言われ、なぜこのような臓器特異性が起こるのかについては現在でもはっきりわかっていないのです。おそらく、女性ホルモンが何らかの形でかかわっているのだと考えられます。しかし、トリプルネガティブ乳がんの割合が高い、BRCA1に変異をもつHBOCの方についても、予防的な内分泌療法（タモキシフェン内服など）で乳がんの発がんが約半分になることが分かっており、非常に興味深いところです。HBOCの臓器特異性のメカニズムを解明出来たら、HBOCの発がん予防や発がん後の治療に大きく役立つため、世界中の研究機関で基礎研究が行われています。及川病院も長崎大学との共同研究としてこのテーマに取り組んでおりますので、ご協力いただけますと幸いに存じます。将来的には、HBOCと診断されたら完璧に予防、根治できる様になると良いですね。

医療法人にゆうわ会

及川病院

乳腺外科
緩和ケア内科

福岡市中央区平尾2-21-16 〒810-0014

TEL092-522-5411 Fax092-522-6244

<診療時間>

平日9:00~ 18:00

土曜日9:00~ 17:00

<休診日>

日曜・祝日



及川病院

六本松乳腺クリニック

福岡市中央区六本松4-2-2

[六本松421] 2Fクリニックゾーン 〒810-0044

TEL092-406-8172 Fax092-406-8182

<診療時間>

9:00~ 17:00

<休診日>

木曜・日曜・祝日

